った。

3) **タカネハナワラビ** *B. boreale* Milde

［産地］ 北海道：有珠山.

この産地は筆者が本誌 **53**: 51-60, 1978 で報告したが，1977年 8 月 7 日の大爆発後は見つかっていない。

A distribution map of the Japanese taxa of *Botrychium* s. str. is presented in Fig. 1. They are:

B. lunaria (L.) Sw. var. *lunaria*—Hokkaido, northeastern and central Honshu.

B. lanceolatum (Gmel.) Angstr.

subsp. *lanceolatum*—central Honshu.

subsp. *angustisegmentum* Clausen—Hokkaido and central Honshu.

B. boreale Milde—Hokkaido.

A specimen of *Botrychium* sp. collected by Faurie at Mt. Sharidake, Hokkaido in 1890 (Fig. 2) was identified by Christ (1896) as *B. simplex*. This specimen is deposited in the herbarium of Laboratoire de Phanérogamie, Muséum National d'Histoire Naturelle (P) in Paris. It is a dwarf form of *B. lunaria* var. *lunaria* in my opinion.

(東邦大学 薬学部)

□Tanai, Toshimasa: **Catalogue of the cleared leaf collection for angiosperm paleobotany** (棚井敏雅：被子植物学のための葉微細構造標品目録). 95 pp. 1982. 北大古植物学研究所，札幌. 非売品. 著者棚井博士は今日の世界で指折りの化石葉の分類と系統論者である。著者自ら日本の各地に採集を試み，台湾，チリー，東部濠州にも足を延ばしたばかりでなく，日本各地，及び世界の主要植物園にも幾多の手をさしのべて集めた標品の葉が1975年以来すでに双子葉を主として153科，655属，2300枚を優に越えるに至った。今回それを整理し，ＡＢＣ順に科属種を排列し，北大標本室の番号を添え，加うるに主な産地を附記したリストを発表した。主に樹木を，しかも系統的に重要なものをえらんでいて，例えば *Acer* では102種，*Betula* では29種の多きに及んでおり，たとえ少量のものでも系統的に重要なものは選んであるから，大抵の科や属の同定には事欠かない情勢であるのはまことにありがたい。p. 5 に J. A. Wolfe に多少変更を加えた同定の方法を明示しているのもこれから比較をする場合に有効であるし，種名と番号名とを通知すれば北大から標本のデータを送ってもらえることは何にも増して感謝にたえないことである。附置された 9 枚の図譜は少々印刷のよくないものもあって惜しいが，今迄にみすごされた葉の形態の要点を十分に注目するように意をそそいでいる。

(前川文夫)